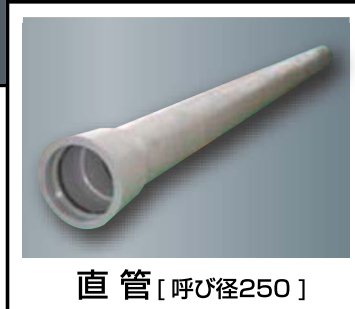
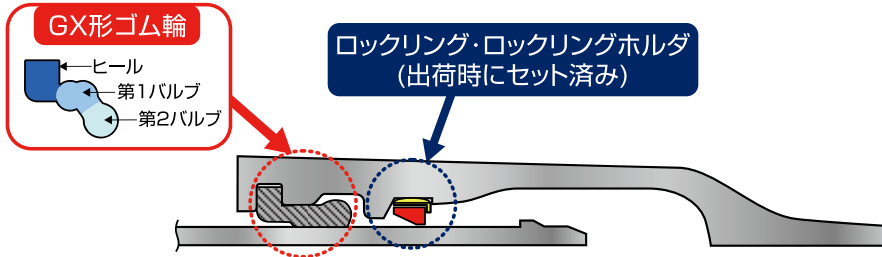


新耐震管 GX形の特長

(1) 直管

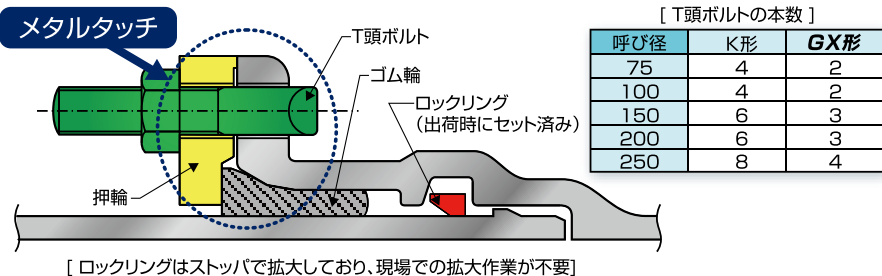
- プッシュオン形式の採用によりT頭ボルトの締め付けが不要
- GX形ゴム輪の採用によりNS形の約1/3(T形並)の挿入力で接合可能
- 曲げ接合も可能



直管 [呼び径250]

(2) 異形管

- 施工の融通性を考慮しメカニカル形式を採用
- メタルタッチの採用によりT頭ボルト締め付け時のトルク管理が不要
- K形の半数のT頭ボルトで水密性を確保



[T頭ボルトの本数]

呼び径	K形	GX形
75	4	2
100	4	2
150	6	3
200	6	3
250	8	4

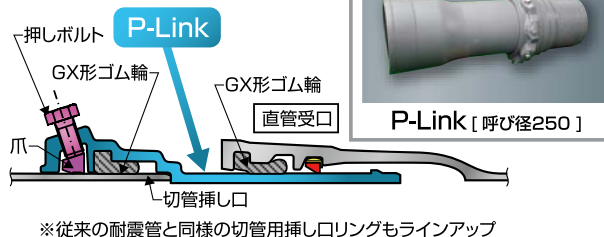


異形管 [呼び径250]

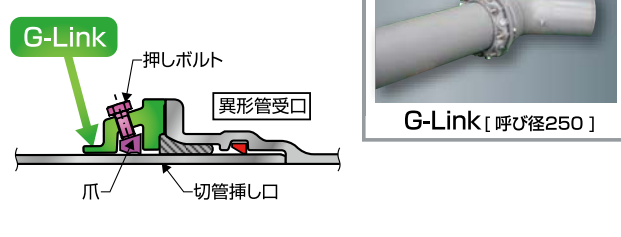
(3) 切管ユニット

- 切管ユニット (P-Link、G-Link) により溝切り加工なしで3DkN以上の離脱防止性能を確保 (D: 呼び径)
- 爪に新しい外面耐食塗装を施すことにより長期にわたる確実な離脱防止性能を確保

① P-Link (直管受口への接合用)



② G-Link (異形管受口への接合用)



(4) 新しい外面耐食塗装

- 外面には亜鉛合金溶射に封孔処理を施した耐食層を形成
- 部分的に鉄部が露出しても耐食層の自己防食により防食機能を維持
- ポリエチレンスリーブ被覆なしで長期の使用に耐える防食設計(山地を除く国土の95%)

